

# 公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

## 研修報告書 (2017年度 助成者)

作成日 2017年 9月 3日

氏名 (フリガナ)	南淵 美玲 (ナブチ ミレイ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2017年8月14日 (月) ~ 8月19日 (土)
大学名	鳥取大学
学年	6年

この度、医学部夏期集中医学英語研修に参加させていただきましたことを、大変嬉しく思っております。研修は非常に有意義で、特に以下の点で、自らの将来の糧となる研修ができたと考えております。

最も印象に残っている研修は、ハワイ大学医学部(以下、JABSOM)で行われた、**clinical practice** です。内容は、JABSOMの学生に患者役をしてもらい、**history taking** をして、それをまとめた **case presentation** を各先生の前でマンツーマンで行う、というもので、私自身 **case presentation** を英語で、というのは、以前にも経験したことがありましたが、ここまで体系的に教えていただけたのは初めてだったので、本当に勉強になりました。最終日の **case presentation** では、先生方からもこれからは頑張ったらもっと伸びるよ、とっていただけたので、今後も友達や先生を相手に練習を続けたいと思います。

また、他大学の志を同じくする仲間と知り合えたことは、今後の自分の財産となりました。研修に参加していた他の学生は、私を含め半数以上の方が研修後に留学を控えていて、この研修を練習の場と捉えているようでした。私は自身の留学に対し、楽しみでもありましたが不安が優っているような状況でこの研修に臨んだのですが、他の学生の方や先生方から刺激を受け、とりあえず行ってみることが大切そうだと感じました。他の学生は全員異なる海外の病院で研修を考えていて、その話を聞くだけでも非常に面白く、また興味深かったです。

英語が話せる、話せない、**USMLE step1** を持っている、いない、ということは、アドバンテージにはなりますが、研修をはじめてしまえば、それよりもいかに自分をもっているか、ということの方が重要だと思いました。今後もここで学んだことを生かしつつ、自分の持ち味を大切に、医師国家試験、初期臨床研修と歩みを進めたいと思います。

最後になりますが、このような機会を与えてくださったハワイ東海インターナショナルカレッジの職員の方、ハワイ大学の学生、先生方、Nogi先生、Lim先生、小林先生、そして小玉 正智先生に、深く御礼申し上げます。